

就学に向けて

幼児教育支援員 糊澤 美奈登

連日の大雪で交通渋滞、雪かき、ツルツル路面にうんざりな毎日ですね。保護者の皆様も幼稚園への送迎、大変お疲れ様です。そんな大人を尻目に、子どもたちは園庭にできた大きな雪山や雪深い林に大喜びで、元気に戸外遊びを楽しんでいます。靴カバーなどのご協力のおかげです。本当にありがとうございます。

年長さんは、幼稚園生活も残すところ1か月半ですね。親子ともに就学に向けて、期待と不安に胸を膨らませているのではないのでしょうか。

札幌市では以前より幼稚園と小学校の職員同士が連携を図り、子どもたちがスムーズに次へのステップに移行できるように取り組んでいます。手稲区でも10年ほど前から手稲中央幼稚園が中心となって『幼保小連携推進協議会』を進めています。幼稚園、認定こども園、保育園、小学校の先生同士が、互いの教育の実際を知ることがとても大切だからです。先日も幼保小の先生方がZOOMを活用して同じ講演会を聞いたことで、たくさんの学びがありました。

『幼児期に大切なことは勉強の先取りではなく、豊かな遊びの中で様々な直接体験をすること』『幼稚園の遊びが小学校での学びの基礎になっている』などを手稲区の先生方みんなで確認することができました。

また昨年度、協議会で「学校ってどんなところ？」というDVDを作成しました。コロナ禍で小学生との直接の交流機会が減っているためです。ていぬくんが小学校の授業や給食の様子を案内してくれる楽しい内容です。このDVDを年長児が保育活動の中で視聴することで、小学校の具体的なイメージをもち、入学への期待を高められるようになってほしいと願っています。

私は幼児教育支援員として教育相談を行っておりますが、やはりこの時期、就学に向けての相談が多くなります。

うちの子は落ち着きがないけど、45分間の授業、座っていられるのか？

自分の持ち物を管理できずに忘れ物が多いけど、大丈夫？

学校までの道のり、一人で歩いていける？

同じ小学校に知っている友達がいないけど、友達つくれる？

などなど心配になることも多いかもしれませんね。

他の幼稚園に通うお子さんの保護者からも「就学時健診の案内状に教育相談のチラシが入っていた。」と相談問い合わせの電話をいただくことが増えています。

本園の保護者の方も、是非気軽に声を掛けてください。

送迎のついでにひかりの部屋に寄ってお話しませんか？

相談することで少しでもお役に立てることがあればと思っています。





2月・3月の予定



日	曜	行 事	預かり
2/ 1	火		3月・春休み申 込期間 ～15日
3	木	豆まき	
8	火		実費請求日
9	水	おひさまの日	実費納入日
10	木		実費納入日
15	火	新入園児遊びの会	
17	木	誕生会	
22	火	年長組参観・懇談会 年長修了お祝い会	3月・春休み分決定 通知
24	木	P T A運営委員会	
25	金	絵本読み聞かせ	
28	月		預かり保育料 納入期限

2月 8日(火)

「ポロップひろば」の中止の お知らせ

蔓延防止等重点措置の発令に伴い中止となりました。

今年度のポロップひろばは終了となります。コロナ禍で、中止も幾度かありましたが、ありがとうございました。

2月誕生会のおやつは

・・たこ焼き風（たこなしです。）

持ち物：おしぼり

フォーク又は箸



日	曜	行 事	預かり
3/ 1	火	お別れ会	4月申込期間 ～15日
2	水	年少参観懇談	
3	木	誕生会	
8	火	年中参観懇談	実費請求日
9	水	修了式総練習	実費納入日
10	木		実費納入日
11	金	P T A後期会計監査	
16	水	修了証書授与式 年少・年中組は休園となります。	年少・年中組預かり 保育なし
18	金	一日入園	
25	金	終業式・離任式（午前保育）	
26	土	春季休業日～4/6	
30	水		預かり保育料 納入期限
31	木	可能であれば 25（金） までをお願いします。	預かり保育休業 日（専任保育士引 き継ぎ日）



〔 3月1日のお別れ会について 〕

もうすぐ修了する年長組のために、年中組が中心となり年少組と一緒に活動を進めます。

当日は、ゲームと一緒に楽しんだり、みんなで同じ昼食を食べたりします。

紙製のおしぼり、フォーク、スプーンは付いてくる物を使います。水筒とナプキンを持たせてください。



ハンバーグ（ケチャップ付き）、ポテトフライ、ご飯（ふりかけ付き）、ゼリー3個の昼食となります。

新入園児を

迎える準備が
始まります

3学期は、4月から入園するお子さんたちを迎える準備が始まります。2月15日には「新入園児遊びの会」3月には「一日入園」が予定されています。

年少・年中児たちにとって新入園の友達を迎える優しい気持ちや、先輩としての自覚や期待を育む機会にしたいと考えています。